

露点検出器 ND-CH



結露状態確認が 容易な進化した デューカップ

ドライアイス等冷却材が不要な電子冷却素子（ペルチェ素子）や、結露状態の見極めが容易な10倍スコープを採用。使いやすさと正確性が大幅に向上した、デューカップの新たなスタンダードです。

面倒な 冷却材は 不要

電子冷却素子 (ペルチェ素子)を採用

電子冷却素子の採用により、ドライアイスやアルコールが不要。扱いやすさが大幅に向上しました。

冷却速度3段階切替

測定する露点に適した冷却速度をダイヤルにより3段階から選択でき、過冷却を防ぎます。

結露の 見極めが 容易

10倍スコープ による拡大監視

拡大して結露状態を監視することにより、従来の測定機器では個人差の大きかった結露の見極めが、正確かつ容易に行えます。

正確な 温度測定

正確な測定温度を ホールド表示

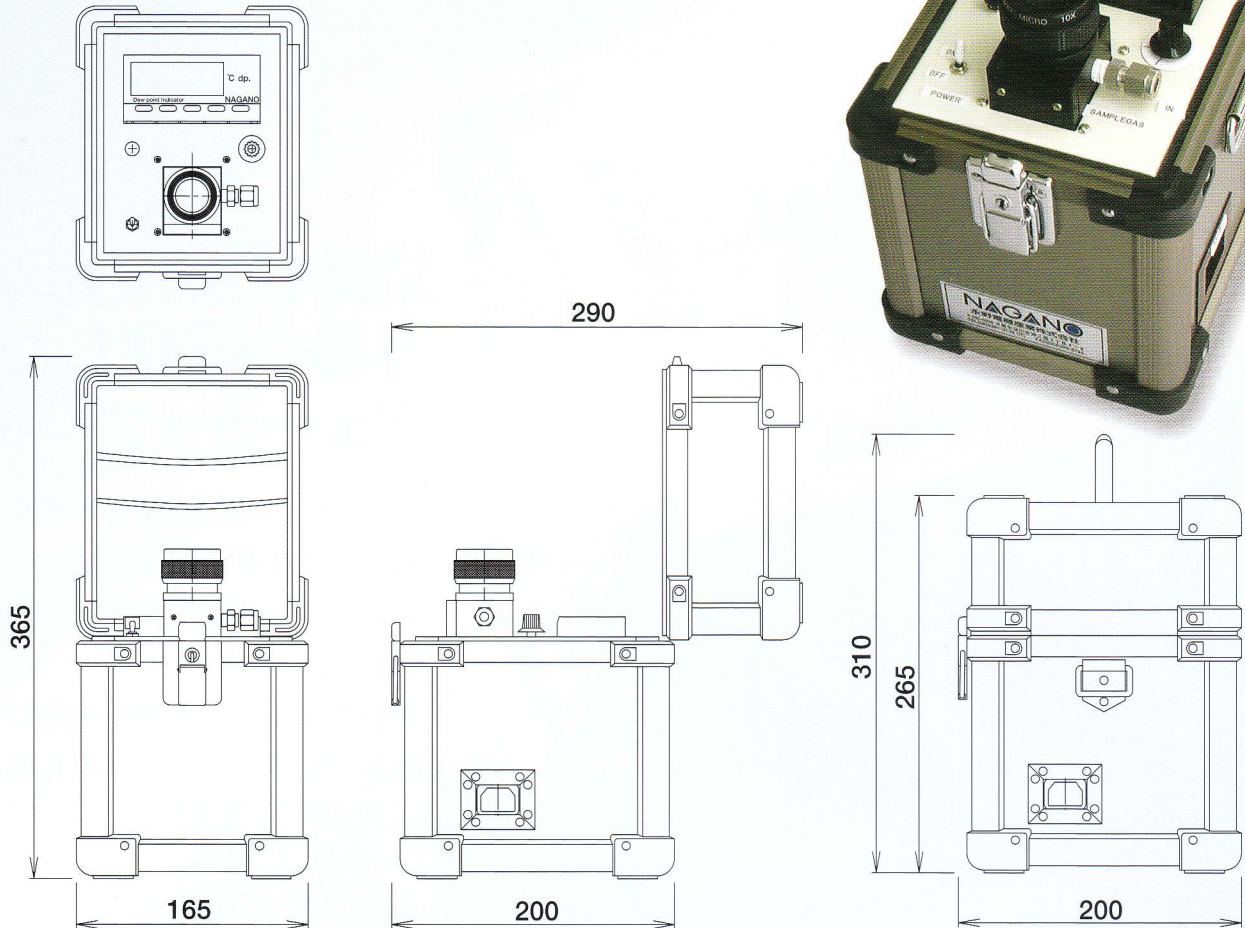
温度センサーにPT100Ω温度抵抗体を採用。反射板に密着し、温度を正確に測定します。結露開始を確認した時点で冷却スイッチを離すと、その時点の温度を【測定ガス露点】として、モニタ上にホールド表示します。

概要

ミラー冷却式露点計と同様に、放熱フィンの上にマウントされたペルチェ素子、PT100Ω温度センサー、反射板、光源、サンプリングポットが測定の心臓部です。サンプリングポットには、倍率10倍のスコープがマウントされ、反射板の状態が確認できます。

まず、サンプリングポットに測定ガスを流し、内部をパージして測定開始です。冷却スイッチを押すと、押している間ペルチェ素子が反射板を冷却します。スコープを覗いて結露状態を監視し、反射板に結露し始めた時点で冷却スイッチを離すと、その時点の温度がモニターにホールドされます。その温度が、測定ガス露点となります。冷却のスピードは、ダイヤル設定で3段階に調節でき、測定露点に応じて適切な状態に切り替えてご使用いただけます。

外形寸法図 単位:mm



仕様

- | | | | |
|-------|--|-------|--------------------------------------|
| ■型式 | ND-CH | ■使用流量 | 約1L/min程度 |
| ■電源電圧 | AC100V | ■使用圧力 | 大気圧+ α
(出口大気開放で流量が確保できる程度) |
| ■測定原理 | ミラー冷却(目視)方式 スポット測定 | ■測定時間 | 10~60秒(測定露点により異なる) |
| ■温度測定 | PT100Ω class A | ■配管接続 | Rc1/8 |
| ■冷却能力 | -30℃(環境温度20℃において)使用環境・状態による。水素、ヘリウムガス等は冷却能力が低下します。 | ■寸法 | 約165W×265H×200D(mm) |
| | | ■重量 | 約2Kg |

取扱代理店